

政府の緊急事態宣言を受けての市長メッセージ

- 本日、菅首相が新型インフルエンザ等緊急事態宣言をしたことは、この1年、国民、政府、自治体、保健医療関係者など日本社会全体が感染拡大防止のための奮闘をしてきた経験を基に、日本社会全体が一体感を持って取り組むことにより、この難局を乗り越えようとする政府の強い意志の表れであり、賛同するものであります。
- 宮城県は、緊急事態宣言の対象地域にはなりませんでしたが、県内では感染症患者の発生が継続し、市内でも断続的に感染症患者が発生しており、今回の宣言を緊張感を持って受け止めています。
- 市民の皆様には、これまで経験してきたことを基に、基本的な予防対策の徹底を図るとともに、感染リスクの高い「三つの密」（密集・密接・密閉）や大声、感染症リスクが高まる「5つの場面」（飲食を伴う懇親会等・大人数や長時間におよぶ飲食・マスクなしでの会話・狭い空間での共同生活・居場所の切り替わり）を回避するようお願いします。
- 首都圏では、すでにステージⅣ（爆発的な感染拡大）相当の対策が必要な段階に達しており、首都圏の感染状況が沈静化しなければ、全国的かつ急速なまん延の恐れがあるとされております。
- 宣言の指定地域（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）は勿論のこと、継続して感染者が発生している都市部も含め、不要不急の移動は原則しないようお願いします。
また、そのような地域から戻った場合は、慎重な行動をとるなど自分が感染源となることのないよう心掛けていただきたいと思えます。
併せてそのような地域からの来訪は、延期やオンライン会議などの活用をお願いし、人の移動を極力避けていただくようお願い申し上げます。
- 市主催イベント・会議等の考え方につきましては、国の方針等を踏まえた「県主催イベント・会議等の考え方について」に基本的に準拠します。民間におかれましても、準じていただきますようお願いいたします。